

## 肺がんドックってどんな検査？

肺がんは進行が速く、転移しやすい病気で、初期症状がほとんどなく、発見が遅れがちな肺がんは検査による早期発見が完治へのカギとなります。

肺がんドックは下記に項目に該当する方にお勧めします

- 18歳以前にタバコを吸っていた
- 10年以上タバコを吸っている
- 喫煙指数(1日の本数×喫煙年数)が600以上である
- 咳や痰がよく出る
- 痰に血がまじっていたことがある
- 肺がん検診を受診したことがない
- 直系の家族に肺がんの人がいる など



### 【検査方法】

当センターの肺がんドックは、①胸部単純X線撮影(デジタル正面)、②喀痰細胞診(3日間喀痰法)、③CT撮影の3つの検査を実施します。各検査の結果から、総合判定をします。

喀痰細胞診とは、3日間の痰を採取し、顕微鏡でがん細胞の有無を調べます。

CT撮影は、胸部(肺)の横断面(輪切り)を撮影します。10秒程度の息止め撮影を数回実施し、約5分間の検査です。

喀痰細胞診とCT撮影を行うことで、骨や心臓などの臓器に隠れた肺がんの発見率を高くします。

### 【注意事項】

- 肺がんドックのCT検査は胸部(肺)を5mm刻みの横断面(輪切り)を撮影しますので、5mmに満たない病変は描出されないことがあります。
- X線検査のため、妊娠中または妊娠の可能性があるかたはご遠慮ください。

